

授業科目名 <英訳>				鉱物科学実験 Experiment on Mineralogical Sciences				担当者所属・ 職名・氏名		理学研究科 准教授 三宅 亮 国際高等教育院 教授 下林 典正 理学研究科 教授 土山 明	
配当 学年	3回生以上	単位数	1	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	火4,5	授業 形態	実験	使用 言語	日本語
科目番号		3549									
[授業の概要・目的]											
鉱物のキャラクタリゼーション（特性評価）のための分析法について実習を行う。鉱物試料から化学組成や結晶構造などの情報を引き出す手法の原理と基本的実験操作法の習得を目指す。											
[到達目標]											
鉱物のキャラクタリゼーションのための分析法を理解し、鉱物試料から化学組成や結晶構造などの情報を引き出す能力を養う。											
[授業計画と内容]											
以下のような課題について実習を行う。各課題には、受講者の理解の程度を確認しながら、【 】で指示した週数を充てる。はじめに原理の説明を行い、そのあと、実際に鉱物試料について様々な分析機器を用いて観察・分析を行う。最後に、各自が取得したデータの解析を行う。 1．X線回折実験（原理、分析、データ解析）【3～5週】 2．走査型電子顕微鏡試料作製法実習（原理、試料作製）【1～2週】 3．走査型電子顕微鏡実験（原理、観察／分析、データ解析）【3～5週】											
[履修要件]											
「鉱物学」「地質機器分析法」を履修していることが望ましい。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
平常点および講義中での積極的な姿勢（60点）とレポート（40点）により評価する。 ・欠席や遅刻は厳しく減点する											
[教科書]											
授業中に指示する											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
[授業外学習（予習・復習）等]											
必要に応じて授業中に指示を行う。											
（その他（オフィスアワー等））											
積極的な授業参加を希望する。オフィス・アワーは特に定めないが、授業終了後に質問を受け付ける。 オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。 オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											